



POCO a POCO

ポコ・ア・ポコ

基本理念

安心できる、心暖まる医療

1. 私たちは誠実で親切な心をもって医療に従事します
2. 私たちは人権を尊重した良質な医療を提供します
3. 私たちは地域精神医療と地域ケアを実践していきます

POCO a POCO (ポコ・ア・ポコ) とは…

ポコ・ア・ポコとは少しずつという意味があり、何事も少しずつ、徐々に良くなっていければなどの思いを込めてみました。

発行人：塚崎 稔

発行所：長崎県長崎市布巻町165-1

TEL 095-898-7511・FAX 095-898-7588

<http://www.sanwa.or.jp>

清潮会開設50周年を記念して



医療法人 清潮会
三和中央病院
院長 塚崎 稔

医療法人清潮会は、1968年に初代理事長塚崎兼輔によって旧野母崎町に設立され、医療法人清潮会塚崎病院を開設して今年で創立50周年となります。開設当時小学生だった私は入院患者さんを迎えるべく、父と一緒に新しく出来た病院の廊下や窓ガラスを掃除したことを覚えています。

その後、1981年1月には旧三和町に三和病院（300床）が初代理事長によって開設されました。塚崎病院と三和病院は長崎半島の精神科医療の中核病院として機能してまいりましたが、近年精神医療は入院中心から地域医療へと変革が進み、その結果外来機能、リハビリ機能の充実を図る目的で両病院が統合し、2001年に三和中央病院としてスタートしました。そして、順次病床を調整しながら現在病床数702床に至っております。

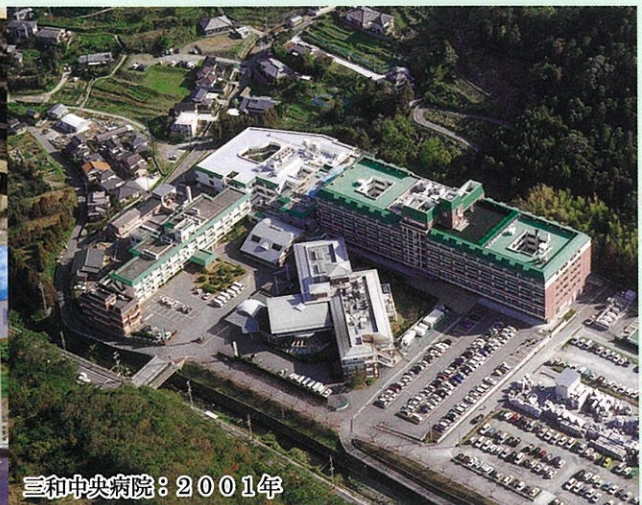
振り返りますと、開設当時は、患者さん達と共に過ごした日々でした。春には病院下の海岸であらかぶ釣りをし、夏には高浜海水浴場で泳ぎ、秋には病院運動会、冬には新年の餅つきをしたことが懐かしく思い出されます。皆、家族のように暖かい関係を築いていました。それから50年、私も今年で還暦を迎える年齢になりました。医療法人清潮会が50年間、ここまで発展してこれたのも設立当時から支えて下さった職員の皆さん、患者さんのおかげと感謝申し上げる次第です。



三和病院：1968年



三和病院：1981年



塚崎病院：1984年 三和中央病院：2001年

第30回九州アルコール関連問題学会

医療社会福祉部 部長 梁瀬健一

第30回九州アルコール関連問題学会長崎大会が3月16・17日、長崎ブリックホールにて開催されました。長崎では9年ぶり4回目の開催となります。今大会は塚崎院長が大会長となり、当院が事務局を担当致しました。

九州アルコール関連問題学会は日本アルコール関連問題学会（平成2年「日本アルコール医療研究会」より改称）の九州地方会として発足し、アルコール依存症の治療やその周辺のアルコール関連問題にかかわる医療・保健・福祉関係者をはじめとする専門職員の研究と研修及び交流の場として発足されて以来、平成4年より九州アルコール関連問題学会と改名され各県持ち回りで開催されています。

長崎大会では、近年アルコールや薬物という（モノ）への依存に留まらず、ギャンブル、インターネット、ショッピングなどの行為（コト）への依存対象が肥大していることから、「広げよう！依存症の回復と支援～モノからコトへの依存症対策～」としてテーマを掲げました。今大会は、九州アルコール関連問題学会30周年を迎えた記念大会でもあり、学会長による基調講演や各テーマによる分科会など医療関係者のみならず福祉・教育・参加者一同、活発な議論が行われ、新たな認識を深めることができました。

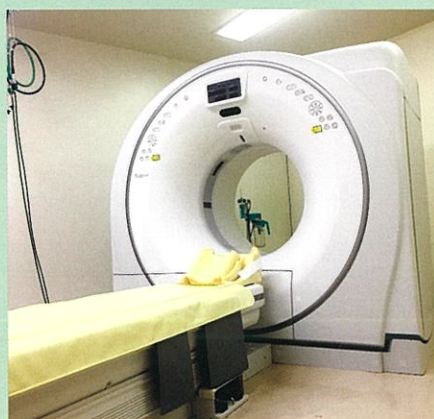
また市民公開講座では、ギャンブル依存症について理解を深めようと企画され、シンポジストに長崎こども・女性・障害者支援センター所長の浦田実先生、西脇病院病院長の西脇健三郎先生、ギャンブル依存症問題を考える会代表の田中紀子先生により、それぞれの立場から、依存症を取り巻く現状や課題、その治療や予防、対策など議論されました。

長崎大会では参加者200名、二日目の市民公開講座では270名を越える参加を集め、有意義な議論が交わされ、無事閉会することが出来ました。これもひとえにご支援・ご協力の賜物と大会実行委員をはじめ、関係者一同深く感謝申し上げます。



この写真は高浜海水浴場です！
夏は熱中症対策を忘れずに☀

最新CT導入しました!!



当院では、最新の16列マルチスライスCTを導入しました。従来の装置よりも、短時間で診断に有用な高精細画像を得ることが可能です。また従来では何度も撮影が必要だった検査も一度の撮影で済むため、X線被ばくを抑えられ、患者様に優しい検査が実施できます。

デイケア室

部署紹介

当院デイケアは大きく2つに分かれています。1つ目が精神疾患の方への治療やリハビリテーションを行う『福の会』、2つ目がアディクション（依存症）の治療やリハビリテーションを行う『竹の子クラブ』です。活動は目的により5つのグループに分かれています。『福の会』は

①社会生活継続 ②就労支援 ③リワーク ④高齢者向けの4つ、⑤『竹の子』5つのグループごとで活動します。

①社会生活継続は、退院後直後の方から退院後長期にわたり在宅で生活を送られている方など全ての精神疾患の方が対象です。日常生活の中での不安や人間関係の悩みなど、活動を通して楽しみながら学びます。集団が苦手な方には個別デイケアも実施しています。

②就労支援は仕事がしたいという思いがある方が対象です。ハローワークと連携して就労支援をしており、より仕事に就きやすい環境を作っています。現在、当院デイケアから3名の方が就労されており、内1名は1年以上の長期就労をされています。更に今年度は4名の方が就労される予定です。

③リワークは、病気を理由に休職、退職された方が復職を目指す活動をしています。復職支援はうつ病の方に対して行うのが一般的ですが、当院では統合失調症やADHDなど様々な疾患の方にも対応しています。病気の事を学び、職場や家庭で再発しない方法を習得することも目標の一つです。また環境調整として職場訪問を実施し、病気の説明や対応策の助言を行い、長期的な復職ができるようにサポートもしています。

④ゆるりの活動は高齢の方が対象で認知症の予防や体力の維持を目的とした活動をしています。

⑤依存症の活動はアルコール、ギャンブル、薬物など依存症と診断された方が対象で、専門的なりハビリテーションプログラムを通して生活リズムを整え、体力維持・回復などに努めます。断酒、断賭博、断薬を学び1日1日を大切に歩んでいただくグループです。

精神科デイケアの活動は、自分の病気の事を学び、社会機能を習得する事で充実した毎日を送り、社会復帰へと繋がります。興味のある方は気軽にデイケアにお越し下さい。



作業療法室



病棟作業療法は、4月に新人作業療法士1名が入り、作業療法士9名・看護師2名・助手3名の14名のスタッフで構成されています。

作業療法では疾患により生活に障がいを持った方々に対し個別あるいは他者との関わりや具体的・現実的な活動を利用し、精神機能の向上・対人関係能力の改善・作業能力の改善などを図り、その人にとってのより良い生活が送れるように指導や援助を行っています。作業療法とはその人が生きていく事全てを作業と捉え、生活の中で必要となる身体機能面や精神機能面などの能力に対して関わっていきます。そしてその方が生活や人生が豊かになるお手伝いをしています。

理学療法室



こんにちは、理学療法室です。私達は理学療法士2名、按摩マッサージ師1名、准看護師1名の計4名です。対象者は入院患者様がほとんどで、患者様の状態に応じて運動療法や物理療法を行っています。運動療法は週1～2回予約制にて実施しています。ご不明な点がございましたらお気軽に理学療法室までお問合せ下さい。

NBCラジオ「さわやか長崎すこやか人生」出演

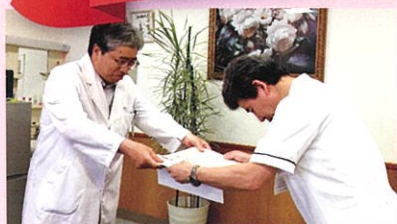
●診療部 心理療法室 室長 森和弘

毎週日曜日、朝8時から放送されている、NBCラジオの「さわやか長崎すこやか人生」の「介護のあれこれ」コーナーで、今年1月から3月まで10回シリーズで「高齢者と心理学」について話す貴重な機会をいただきました。元々は長崎県臨床心理士会が受けた依頼を医療保健担当理事の私が対応したのですが、出演にあたり、高齢者の様々な暮らしを皆で支え合えるようにと願い、心理学で得られたいろんな知見を紹介しました。主な内容を紹介します。

- ①「臨床心理士について」。心の悩みを見立て、解決する。寄り添い、一緒に考える姿勢を大切にしている。
- ②「数字から読み取る高齢者」。一般に65歳以上、全国で4人に1人。自分で高齢者だと思うのは、70代後半から過半数を超える。
- ③「高齢者とライフサイクル」。心理学では、生涯全体を発達ととらえ、ライフサイクルという。
- ④「高齢者と性格」。心配性や頑固さは元々の性格が目立つようになったもの。
- ⑤「老後の過ごし方」。趣味や自治会活動などで友人が増えた、充実感があるという意見が多い。家族、宗教も生きがいになる。
- ⑥「高齢者と認知症(1)」。80代後半では4人に1人。記憶は低下するが、感情は敏感になる。周囲は誤解なく寄り添えると良い。
- ⑦「高齢者と認知症(2)」。心理検査の結果は説明や留意点をよく聞き、納得することが大切。
- ⑧「うつ病とせん妄」。高齢者には、うつ病を誘発するストレスが多い。周囲が異変に気づいたら、早めの受診を。
- ⑨「高齢者のストレス」。高齢者が実際に成功したストレス対処法。気晴らし、あるがまま、楽天的、他人を変えようとしない、上手に距離を取る。
- ⑩「高齢者と共にあるために」。肯定的な関心と同時に尊重して踏み込まない。高齢者から学ぶことは多い。

今回の機会をくださった、公益財団法人 長崎県すこやか長寿財団の方々、良い聞き手になってくださった寄川淑子アナウンサーをはじめ、NBC長崎放送の方々に感謝申し上げます。

★★★ 永年勤続表彰 ★★★



| | | |
|-----------|-----------|------------|
| 30年 4名 | 20年 5名 | 10年 12名 |
|-----------|-----------|------------|

計21名の方が表彰され、表彰状と記念品の授与が行われました。

編集後記

今年で清潮会は50周年を迎えます。50周年記念誌も発行予定であり、そのための準備を行っている所です。皆で協力して良いものを作っていきますので楽しみにして下さい!

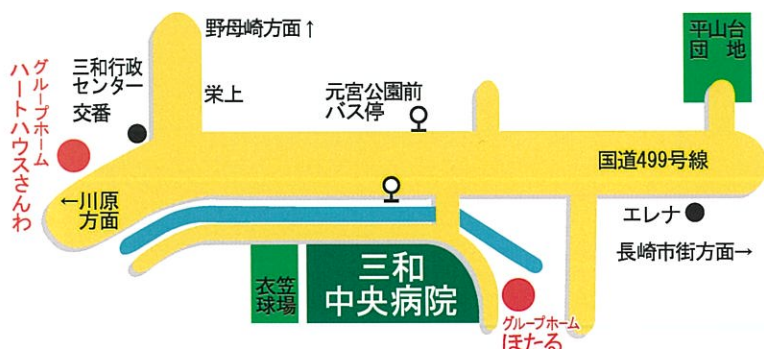
〈広報スタッフ一同〉

○三和中央病院ホームページでは、新着情報・学会報告・今後の予定などリアルタイムで更新しています。

詳しくはこちらまで → <http://sanwa.or.jp>

三和中央病院

検索



医療法人 清潮会 三和中央病院
診療科目：精神科・心療内科・内科・歯科
〒851-0494 長崎県長崎市布巻町165-1
TEL 095-898-7511・FAX 095-898-7588 E-mail : info@sanwa.or.jp

グループホーム ハートハウスさんわ グループホーム ほたる
〒851-0403 長崎県長崎市布巻町72-1 長崎県長崎市布巻町624-1
TEL・FAX 095-892-8780 TEL・FAX 095-895-5550

医療法人 清潮会 さんクリニック
診療科目：心療内科・精神科
〒850-0842 長崎県長崎市新地町8-16 ミナトパークビル4階
TEL 095-895-8160・FAX 095-895-8161 <http://www.sanwa.or.jp/sanclinic/index.html>